

ふなほししみどり きほんけいかく かいていたい ぼん あん 船橋市緑の基本計画(改定第3版)(案)

ふなほししみどり きほんけいかく し 船橋市緑の基本計画について知ろう！

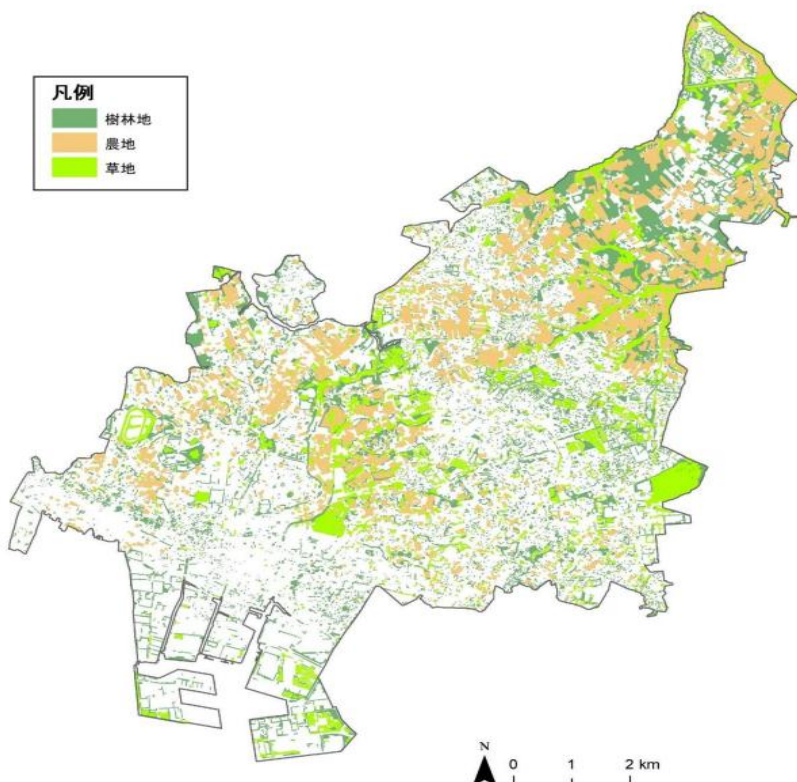
ふなほししみどり きほんけいかく 船橋市緑の基本計画ってなに？

と し みどり
都市の緑には、①公園などの遊びや運動の場、②防災、③美しい風景、④生き
もののすみか、⑤温暖化の防止などといった役割があります。しかし、都市の緑
は何も対策をしないと減っていく恐れがあります。

そのため、船橋市では緑を守り、そして増やしていくことを進めるために緑の
基本計画を作っています。

へいせい ねんど いま けいかく れいわ ねんど はんぶん きかん す いま
平成28年度につくった今の計画が、令和7年度で半分の期間が過ぎたので、今の
状 況 に合うように見直すことにしました。

ふなほししみどり 船橋市の緑のいま

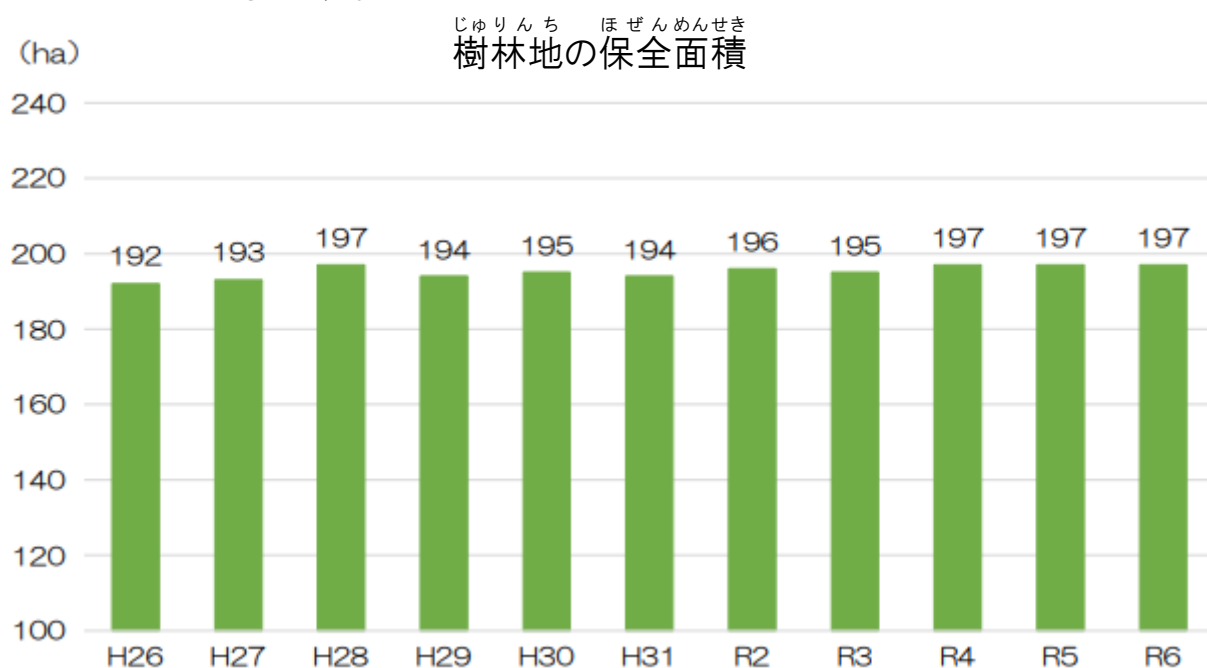


はやし くさ のうち はたけ
林や草、農地(畑)など
みどり おお とち
「緑」に覆われている土地
は、26.4%となっています。

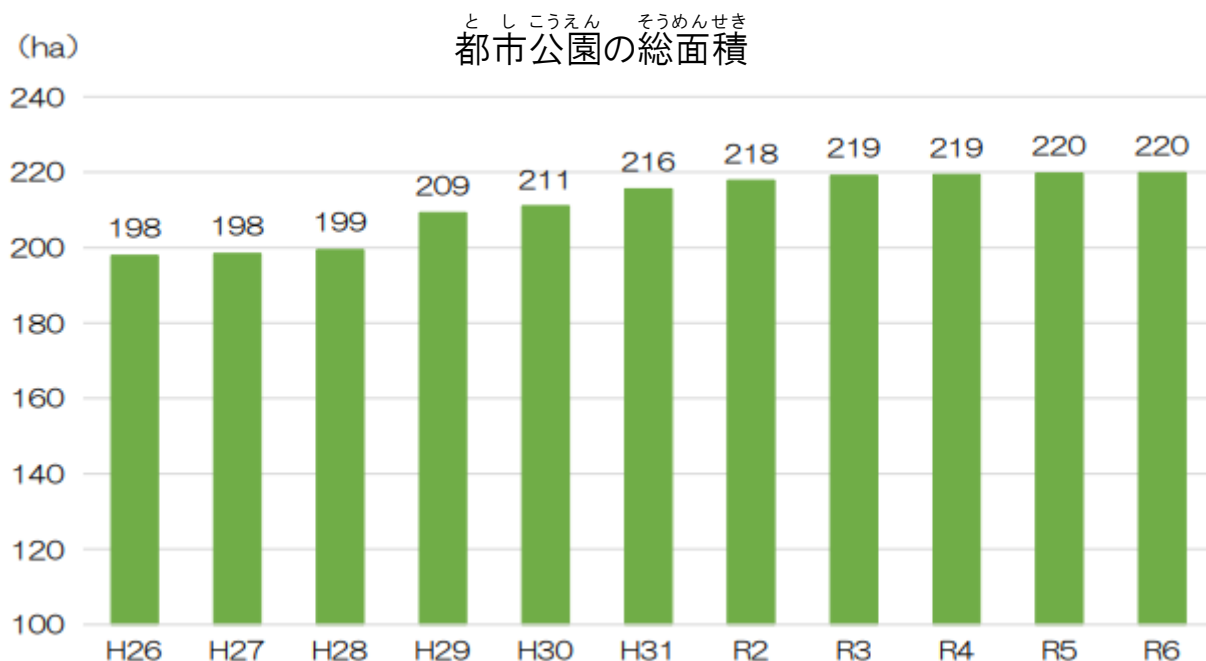
みどり ぶんぶす
「緑」の分布図

市が保全に関わっている樹林地の面積は、平成26年と比べると5ヘクタール増加しました。新しく緑地をつくったり指定樹林（※1）にすることで増加していますが、一方で林を持っている人がいなくなってしまうことで、管理することが難しくなっていたりします。

（※1）指定樹林…樹林を指定し、持ち主にきちんと管理してもらい、お金を支給する制度



公園の面積は平成26年と比較すると22ヘクタール増えています。ただ、公園をつくれる場所が少なく、残念ながらあまり増えていません。



ふなばししみどり きほんけいかく たいせつ 船橋市緑の基本計画で大切にしたいこと

みどり しょうらいぞう 緑の将来像

ある
歩こう・ふれよう

みどり みず
「緑・水・ふるさと、ふなばし」

こどもからお年寄りまでが緑と水にふれあいながら歩ける街を目指します。
みんなが船橋をふるさととして元気で長く暮らせる、緑豊かなまちづくりをみ
んなと一緒に進めていきます。

ふなばし 船橋市ではこんなことに取り組みます！

みどり しょうらいぞう じつげん
緑の将来像を実現するための取り組みを5つに分けてまとめました。

1. まも 守る

しない のこるたいせつ みどり まも
市内に残る大切な緑を守っていきます。

おも と く ないよう 主な取り組み内容

- し ない のこ たいせつ じゅりん まも
・市内に残る大切な樹林を守っていきます。
- はたけ た のう ち まも
・畑や田んぼなどの農地を守っていきます。

2. 増やす

緑を増やすため、公園などをつくります。また、さまざまなところに緑をつくることで、街全体が緑でいっぱいと感じられるようにします。

主な取り組み内容

- 公園が不足している地区に優先的に公園を整備していきます。
- 道路や市の施設などに緑を増やしていきます。

3. はぐくむ

さまざまな緑の特性に合わせて管理を行い、質の高い緑をはぐくみます。

主な取り組み内容

- 木の種類や場所に合わせて木の手入れをします。
- 公園を定期的に点検し、安全に遊べるようにします。

4. いかす

みどり も 緑 が持つさまざまな機能^{きのう}を、まちづくりなどに活か^いしていきます。

おも と く ないよう 主な取り組み内容

- いちじてき ひなんばしょ ひろば さいがいじ つか しせつ
・ 一時的な避難場所となる広場をつくるなど、災害時に使える施設を
ふ
増やしていきます。
- ちいき かいじょう つか
・ 地域イベントの会場として使えるようにします。

5. 親しむ^{した}

みどり ふ たの まな 緑 に触れ、楽しく学べるようにするなど、緑 に親しむ^{した}まちづくりを進め^{すす}ます。

おも と く ないよう 主な取り組み内容

- みんなと きょうりよく はな
・ みんなと協力して花のあふれるまちをめざします。
- し はな
・ 市の花である「ヒマワリ」と「カザグルマ」をPR します。
- こうえん ないよう じゅうじつ
・ 「公園マップ」の内容を充実させます。